

第 140 回和光市環境づくり市民会議定例会(全体会議)要旨

平成 30 年 3 月 20 日 (木)

午後 3 時から午後 4 時

602 会議室

出席者：峯岸会長、芝副会長、高橋勝緒委員、高橋絹世委員、小林委員、友國委員、渡辺委員、岩崎委員

事務局出席者：環境課長 亀井、課長補佐 工藤、主査 工藤、主任 金岡

司会：課長補佐 工藤

1 開会

峯岸会長

2 議題

(1) 平成 30 年度環境づくり市民会議年間スケジュールについて

事務局： 別紙「平成 30 年度環境づくり市民会議年間スケジュール(案)」をご覧いただきたい。平成 30 年度は、平成 29 年度環境施策実施状況の評価方法、緑化まつりへの参加、広報誌「環」の発行、和光市自然環境マップを活用したフィールドワーク、市長・教育長との懇談会、平成 31 年度の年間スケジュール等の検討を予定している。

峯岸会長： 事務局からの説明について、ご意見をいただきたい。

高橋勝緒委員： 評価をしても緑地は減っていく。むなしい限りである。

高橋絹世委員： ○×で評価しても、緑地保全施策が進まないのが現状。
本音で話し合って進めていかないと進んでいかないと思う。

峯岸会長： 毎年、環境づくり市民会議で意見をまとめているが、毎年同

じような意見になってしまう。そのため、評価をもとに、関係課職員を集め、改めて話をする機会を設けてもらいたい。

友國委員： 関係課が施策評価をするにあたってのこれまでの過程、進捗状況を具体的に記載してほしい。

峯岸会長： 平成30年度は、緑地と湧水を取り上げ、施策の進捗状況の確認を行うべきである。

友國委員： 市長、副市長との懇談会でも話があったが、緑の基金について調査し、準備を進めてほしい。

渡辺委員： 毎年評価をしていますが、いつも同じパターンを繰り返している状態。他市の状況等を調査し、少しでも前へ進めてほしい。皆さんの意見に賛成である。

高橋絹世委員： 和光市自然環境マップを作ってからまだ一年しか経っていないにもかかわらず、緑地が無くなり、マップの書き換えが必要になっている状態。トラスト制度を取り入れるなど、一步でも前進できるようしっかりと取り組んでほしい。

渡辺委員： 和光市は都心に近いため、マンション等が多数建ち、今後ますます緑地がなくなっていく方向にある。将来的には、人口が減少し、住宅が減っていく時代が来る。そのため、今後を見据えた仕組みを考える必要がある。

芝副会長： マンションが非常に多くなってきている。以前に比べて景色も変わってきている。今、手をうたないと大変なことになる。

渡辺委員： 他市と比べると、和光市には緑地に適した土地がない。

岩崎委員： 和光市環境基本計画は、努力目標となっているため、目標を達成しなくても特に罰則もない。緑地が無くなっているという話があったが民有地であるため、市は権限もなく、それを止めることはできない。なかなか難しいところである。

友國委員： 緑地保全のための補助金を国と県からもらえる。市は、基金を積み立て、基金と補助金をあわせて緑地を買取ればよいが、和光市はそもそも財源が無いので、そういった制度を活用しても、買取りができないと言っている。

また、市民緑地制度もあり、所有者から土地を借用することができるが、それは、期限が切れたら、所有者に土地を返し、その後、所有者は売ってしまう。

岩崎委員： 家をつぶして緑地を広げるわけにはいかないため、これ以上緑地が減らないような方法を考えていく必要がある。

峯岸会長： やはり、緑地に関する現状報告や今後の施策の方向性について意見交換をする機会をつくってみてはどうか。夏ごろの実施はどうか。

高橋勝緒委員： 環境づくり市民会議メンバーの増員を図るための取組も必要である。

渡辺委員： 環境づくり市民会議は、緑地や湧水に特化した内容を論じることが多いが、緑地や湧水以外にごみや喫煙等様々な観点から話し合う必要がある。様々な分野の方から多数意見等をもらいたい。

高橋勝緒委員： 昨年、開催した議員との懇談会において、あらゆる分野に関する話があった。この環境づくり市民会議でも、様々な分野について話し合えるよう、メンバーを増やしていきたい。

芝副会長： 飼い犬の問題等も環境の一部となる。環境づくり市民会議は、そういったことも含めて話し合える機会としたい。

事務局： 事務局として、もちろん環境づくり市民会議委員増のために取り組んでいくが、現メンバーからも何かイベントの際に、積極的に市民に声をかけるなど働きかけを行ってほしい。

友國委員： 生涯学習課が開催するイベントを活用し、声をかけていくこ

とが必要。理研でも講座をやっているかと思うが、そういう機会も活用し、広く周知していくことが重要である。

高橋勝緒委員： 6月にフィールドワークを行うのであれば、広報等を使うなど、周知し、環境づくり市民会議への参加の呼びかけを行うことが望ましい。

友國委員： 焼却施設の問題や地球温暖化対策など、環境には様々なものがある。埼玉県地球温暖化対策西部協議会においても視察等を考えているため、そういった機会も活用したい。

峯岸会長： 夏ごろ、緑地に関する意見交換を実施することについて、事務局に調整をお願いしたい。

事務局： 意見交換については、都市整備課とも調整し、後日、報告したい。

(2) その他

事務局： 毎年発行している「環」の発行だが、5月に発行する予定で進めたい。一人600字程度、次回会議（4月18日 水曜日 午後3時から603会議室）までに友國氏へ提出していただくということによいか。

【全員了承】

《次回会議 4月18日(水) 午後3時から 603会議室》

岩崎委員： 3月31日(土)に理化学研究所の桜公開があり、また4月には、一般公開もある。ぜひご参加いただきたい。

3 閉会

峯岸会長： 本日の会議はこれにて閉会とする。